

人権だより

No. 2 1 5

2015. 5. 21

宇和島南中等教育学校
人権教育部

「自分をほめてやろう」

教頭 田野和典(たのかずのり)

道路には「ゆずりあい車線」「追越し車線」「登坂車線」など似たような標識があります。私は「ゆずりあい車線」が好きです。道路によって機能が異なるかもしれませんが、言葉の使い方で気持ちはずいぶん変わります。

さて、頑張っている君へ

あくまで高い目標に向かって頑張っている君、自分を褒めていますか。ここまで良くやったと、自分を見つめ直してみてもうどうでしょうか。先を見れば、まだまだ足りないことは果てしなくあります。しかし、来た道を振り返ってみれば、達成できたことも数えきれません。言葉を覚え、文字が書けるようになり計算ができるようになっていきます。南校に入って本格的に勉強を始めた英語が、後期生になると話せるようになっていきます。これは、当たり前ではなく、努力の結果です。そして、さらなる課題に向かって進んでいます。自ら与えた道でもあります。周りとの競争を意識しないわけにはいきません。背伸びしたい気持ちも分かりますが、自分を少し見つめ直してみる時間が必要です。

脳の神経細胞は次々と連結しながら、目には見えなくても確実に成長しているのです。一つ二つのことがうまくいかなかったとしても、心配いりません。明日は何とかなります。

高石ともやさんの詩「自分をほめてやろう」を紹介します。

頑張ったのは君だから

自分で決めた道だから

練習の辛さ 負けた悔しさも

それでも走り続けたわけも

君だけが覚えている

今夜は自分をほめてやろう

見えるだろう 一筋の道 君が選んだ長い道

見えるだろう 一筋の道 みんなが君を待っている



5・6年生人権委員の声

- ・努力してきたことを見直していくことは、とても大切なことなのだと分かりました。努力を積み重ねて見直すという行動ができたらいいなと思います。
(5年1組)
- ・私には目指しているものがありますが、いまだそれに届いておらず「頑張らなきゃ!」と思い続けてきました。今回、教頭先生の手書かれた文章の中にある詩を読み、一度、改めて自分を見つめてみようと思いました。すると、以前はできなかったのに、今ではできるようになっていることがたくさんありました。これからも、少しずつ自分を見つめて、自分を認めていきたいと思いました。
(5年2組)
- ・目標に向かって努力する場合に、時には自分を見つめ直すことも大事だと思いました。前へ前へ進むだけでなく、立ち止まって振り返る時間をとることも忘れずに生活していきたいです。相手への配慮の心はもちろんのこと、自分を大切にすることも忘れないようにしたいです。
(5年2組)
- ・頑張っても実らず。これでもか!と頑張っても成果が出ないことがたくさんあり、嫌になることもあったけど、田野教頭先生の文章、高石ともやさんの詩を読んで、その経験をこれからプラスにしていきたいなと思いました。そして、頑張って、変わった自分をいつか褒めてあげたいです。
(5年3組)
- ・自分を褒めていますか。そう聞かれると、僕は「褒めている」とは言えないだろう。自分にできないことだけを見つめ、苦しみ、どうしようと悩んでいるように思われる。今回、自分ができること、できるようになったことがたくさんあることに気付かされた。先を見るだけでなく、ここまでの自分の軌跡を見返すことが大事なのだと気付けた僕を、褒めてあげたい。
(5年4組)
- ・「自分をほめる」ということは恥ずかしいという印象ですが、ここでひとつ「自分をほめよう」と思いました。一見えないところで自分は成長している。自分では、どのくらいできるようになったとかは分かりづらいけれど、きっと成長しているのだろう。—そう思ったのです。私は「ほめる」ことで、より自分の「今」を見直すことができると思います。
(5年4組)
- ・詩の中の「自分が決めた道だから」の部分が好きです。私は苦しくて逃げたくなるとき「自分が決めたことは最後までやる」と考えて頑張っています。自分が決めたことに自信を持っているからです。これからも、自分を信じて、今より成長するために努力していきたいです。
(6年1組)

人権委員が描く人権作品

(5年生)



お知らせ 「児童虐待防止推進月間」標語募集について～保護者用～

趣旨：児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加しています。特に、子どもの生命が奪われるなどの重大な事件も後を絶たず、児童虐待問題は社会全体で解決すべき重要な課題となっています。こうした状況の中で児童虐待問題に対する理解を国民一人ひとりが深め、主体的な関わりを持てるよう、意識啓発を図ることを目的として標語の募集を行います。
(厚生労働省 平成17年度から募集)

過去の標語最優秀作品（参考）

平成17年度	気づいたら 支えて 知らせて 見守って
平成18年度	あなたの「もしや」が子どもを救う。
平成19年度	きこえるよ 耳をすませば 心のさけび
平成20年度	助けての 小さなサイン 受け止めて
平成21年度	守ろうよ 未来を見つめる 小さなひとみ
平成22年度	見すごすな 幼い子どもの SOS
平成23年度	守るのは 気づいたあなたの その勇気
平成24年度	気づくのは あなたと地域の 心の目
平成25年度	さしのべた その手がこどもの 命綱
平成26年度	ためらわず 知らせてつなぐ 命の輪



応募方法：郵便はがきに作品と郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を御記入の上、下記の宛先へ郵送してください。電子メールによる応募も可能です。その場合、記入していただく内容は、郵便はがきによるものと同等です。

宛先：児童虐待防止推進月間に開催する「子どもの虐待防止推進全国フォーラムin allかながわ」（主催：厚生労働省、共催：神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市及び横須賀市）の共催事務局兵庫募集担当あてに応募してください。

①郵送の場合

〒210-8577 神奈川県川崎市川崎区宮本町1番地
川崎市役所 市民・こども局・子ども本部
児童家庭支援・虐待対策室 標語募集担当 宛

②電子メールの場合

jidou-hyougo@city.kawasaki.jp

ファイルを添付する場合は、Word、Excel、一太郎またはテキスト形式のいずれかをお願いします。

募集期間：～平成27年6月16日(火) 郵送の場合は当日消印有効です。